

令和 6 年度 第 4 回市民大学講座を開催します

中津川市の言葉と日本語の歴史をテーマに、中津川という言葉が日本語の歴史や地理的な背景でどのように位置づけられるのかをひもとき、中津川の方言の価値を探ります。

- 日時 令和 7 年 3 月 22 日（土曜日） 13 時 30 分から 15 時まで
- 場所 中津川市ひと・まちテラス 活動室 101a、b、c（中津川市新町 2-34）
- 講師 国立国語研究所 教授・総合研究大学院大学先端学術院 教授 おぎそ としのぶ 小木曽 智信 氏
- 定員 80 人（定員になり次第締め切り）
- 受講料 200 円（中学生以下は無料）※当日、受付でのお支払い
- 申込方法
 - ①別添チラシの申込書に記入の上、各公民館へ提出、またはファクス
 - ②氏名、住所、電話番号、第 4 回講座と入力の上、下記のアドレスへ送信
chuo-cc【アットマーク】city.nakatsugawa.lg.jp

■市民大学講座とは

- ・市内外で活躍する講師による講座を開催し、中津川市の多様な魅力を再発見。これからの中津川市を「自分ごと」としてみんなで考える機会にします。
- ・令和 6 年度の開催は今回で最後となります。



小木曽 智信 氏

お問い合わせ先

文化スポーツ部 中央公民館 担当者：小池
電話：0573-66-4141（内線 80-4161）

令和6年度

中津川の魅力再発見!

市民大学講座



受講生
募集!

第4回

中津川市の言葉と 日本語の歴史

中津川で使われている言葉には、標準語では使われない方言がいろいろあります。たとえば、「あやすい」「おぞい」「けなるい」「そうましい」「たいもない」「にすい」「わやくい」などなど。この中には古い文献に登場する長い歴史を持つ言葉も少なくありません。こうした中津川の手言葉が、日本語の歴史や地理的な背景の中でどのように位置づけられるのか、国立国語研究所の言語地図やコーパス(言語データベース)も使って読み解きます。これらを通じて中津川の方言が、日本語を研究するうえで価値のある、大切にすべきものであることを知っていただきたいと思います。



日本言語地図

とき 令和7年 3月22日(土)

13:30~15:00

場所 中津川市ひと・まちテラス101号室



国立国語研究所 教授
総合研究大学院大学先端学術院 教授

小木曾 智信氏(中津川市出身)

小木曾智信(おぎそとしのぶ)。

1971年、中津川市生まれ(南小・二中・恵那高卒)。東京大学で日本語学を学んだ後、奈良先端科学技術大学院大学で情報処理学を研究し博士(工学)を取得。2017年より国立国語研究所教授として、コンピュータを活用した日本語の歴史的变化に関する研究を行っている。2023年から総合研究大学院大学日本語言語科学コース教授を兼任。編著書に『コーパスによる日本語史研究』シリーズ(ひつじ書房)などがある。

定員 80名(定員になり次第締切)

申込方法

- チラシの申込書にご記入の上、お近くの公民館へご提出ください。(FAX可)
- Eメールでの申し込みは、お名前、ご住所、お電話番号、第4回講座と記入の上、下記メールアドレスへ送信してください。

受講料 200円(中学生以下無料)

※受講料は講座当日受付にてお支払いください。

主催・問合せ

中津川市中央公民館
中津川市本町2-3-25

Eメール chuo-cc@city.nakatsugawa.lg.jp
TEL: 0573-66-4141 FAX: 0573-66-6777

令和6年度 市民大学講座申込書

お名前

お電話

ご住所

E-mail